

【2018年3月31日～2018年4月6日までの推移】

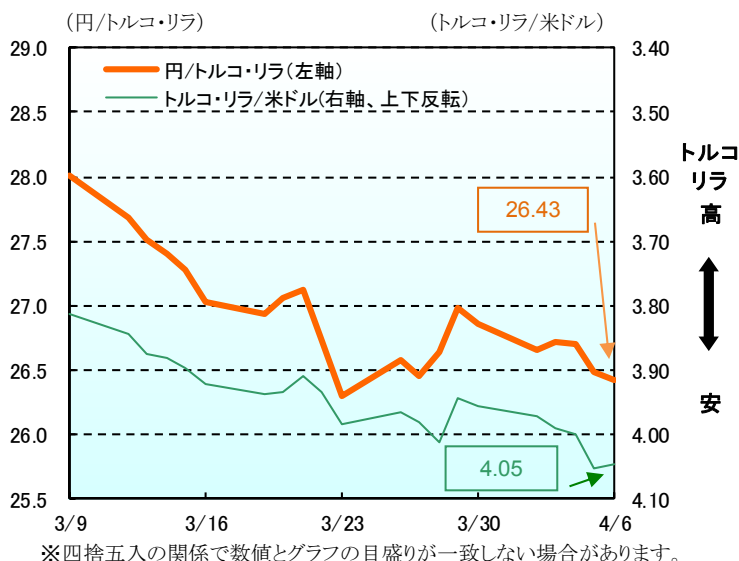
【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇(価格は低下)しました。

3月のCPI(消費者物価指数)が発表され、市場予想を上回る前年比10.23%となりました。

市場では、市場予想を上回るCPIの結果に加えて、市場で評価の高いシムシェキ副首相が辞任するとの観測報道が懸念されたほか、貿易問題をめぐる米国と中国の関係が緊張と緩和を繰り返す中で、市場のリスク回避姿勢が高まったことから、週を通して債券、通貨ともに軟調な展開となりました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年3月9日～2018年4月6日)

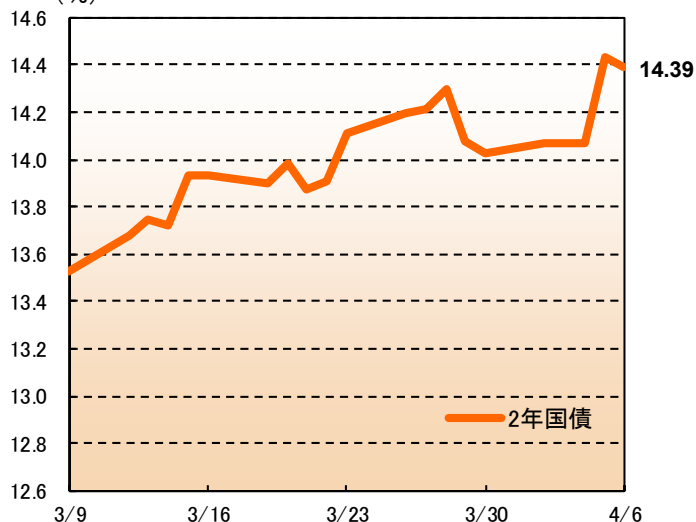


【2】今週の見通し

今週は2月の経常収支の発表が予定されています。対外ぜい弱性への懸念が根強く残る中で、経常収支の動向を把握していくことは重要と言えます。

先週の懸念材料の一つであるシムシェキ副首相の辞任観測は、大統領報道官より否定する声明がありましたが、政権運営にあたる影響の大きさから、同氏の進退動向には注意が必要です。またシリア情勢に絡んだ欧米諸国との関係に関しても、今後もトルコの金融市場に影響を及ぼす可能性があり、状況を注視していく必要があると考えています。

【トルコ 金利推移】 (2018年3月9日～2018年4月6日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>